

各位

2022年9月27日
 会社名 のむら産業株式会社
 代表者名 代表取締役社長 清川悦男
 (コード番号：7131 東証スタンダード)
 問合せ先 常務取締役 西澤賢治
 (TEL 042-497-6191)

2022年10月期 第3四半期決算 決算補足資料

この質疑応答集は、2022年9月13日に発表いたしました2022年10月期第3四半期決算について、投資家の皆様からいただいた主なご質問をまとめたものです。ご理解いただきやすいよう、一部内容の加筆・修正を行っております。

Q1 | 第3四半期の業績は、引き続き前年同期比増収増益となっておりますが、要因について、また通期業績予想に対しての進捗状況について教えてください。

A | 第3四半期業績について、売上高は3,870百万円（前年同期比+9.8%）、営業利益は243百万円（前年同期比+39.4%）となりました。売上高が増加した主な要因は、主力の包装関連事業（包装資材・包装機械）において、家庭用向け販売が引き続き堅調に推移し、業務用向け販売においても外食産業の回復とともに徐々ではありますが当社への需要も回復してきております。また、原材料は高騰しておりますが、包装資材への適正な価格転嫁ができています。営業利益が前年同期と比較し大幅に増加している理由については、引き続き素材や部品などの仕入れ価格高騰の影響を抑えるために、販売費および一般管理費など様々なコストダウンに注力しており、その効果が出ているものと考えています。通期業績予想に対する進捗状況については、当初想定通りの進捗となっています。

(百万円)	2021年10月期 第3四半期	2022年10月期 第3四半期	増減率	通期業績 予想	進捗率
売上高	3,525	3,870	9.8%	5,260	73.6%
営業利益	174	243	39.4%	334	72.8%
経常利益	174	240	37.3%	331	72.6%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	106	146	36.7%	206	70.9%

Q2 | 包装機械販売の状況はいかがでしょうか？ 部材不足の影響を受けていますか？

A | 包装機械販売も堅調に推移しています。しかしながら、ご指摘の通り、部品の調達・供給の状況により来期への持ち越し案件がでてくる可能性があると考えていますが、今期業績への大きな影響はないものと考えております。

Q3 | ウクライナ問題の影響について教えてください。

食料品価格や原材料価格が高騰していますが、小麦の価格高騰は、米の需要に関係がありますか？御社事業への影響について教えてください。

A | 過去にも同様に小麦価格が高騰したことがあります。麺類やパン等の小麦を原料としている食料品に比べて、米の価格は比較的安定しており、過去からの経験則としては、小麦製品の代替品となる米の需要は増える可能性があると考えていますが、それほど大きな影響はないものと認識しております。

Q4 | 業績の季節変動性について教えてください。御社への需要が一番高まる時期はいつになるのでしょうか？

A | 当社の売上高の約85%を占める包装関連事業においては、米穀精米袋や米穀用自動計量包装機などのお米に関連する製品を扱っていることから、業績が季節によって変わる傾向があります。特に新米の出荷時期にあたり第4四半期、8月から10月の間が、一年の中で最も売上高が高くなる傾向にあります。

Q5 | 為替の影響について教えてください。

A | 円安の影響につきましては、仕入価格の抑制や販売価格に対して価格転嫁を行うことなどにより、事業活動に影響を与えないよう対応しておりますが、さらなる円安が進んだ場合における経済情勢等是不透明なこともあり、事業活動に対して影響を及ぼす可能性があると考えております。

Q6 | 6月に「自己株式取得及び自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による自己株式の買付けに関するお知らせ」がありました。その目的について教えてください。

A | お知らせに記載している通り、資本効率の向上を図るとともに、経営環境の変化に応じた機動的な資本政策を遂行するためであります。当社としては、現段階の株価がアンダーバリュであるという認識を持っており、今後成長戦略や資本政策等を実行することにより、企業価値向上を目指していきたいと思っております。引き続き当社にご期待いただければと思います。

のむら産業について

米穀包装資材・機械をワンストップで 企画・販売しているトップランナー

米穀包装資材・機械のパイオニア米穀用包装資材と
包装機械の両方を手掛けニッチ領域で事業を展開

—各市場のシェアと取引継続率—

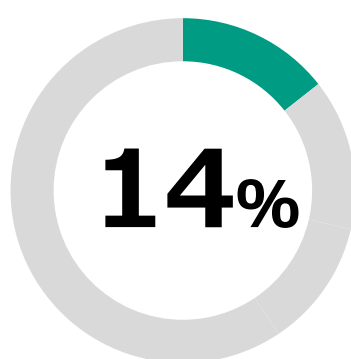
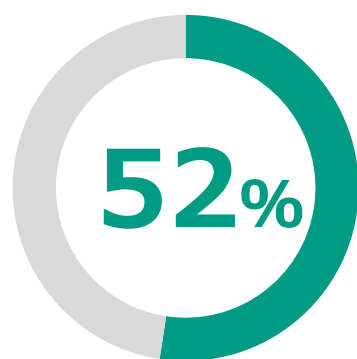
米穀包装業機械業界シェアNo.1

長年培った信頼と実績で高い取引継続率を実現

米穀包装機械
業界シェア※1

米穀包装資材
業界シェア※2

顧客との
取引継続率※3



97%

※1.有価証券報告書等各種データより当社推定2020年データ

※2.農林水産省「米をめぐる関係資料」（2020年7月公表データ）に基づき当社推定

※3.中期的な継続率の判断材料として、2014年10月期の顧客が2019年
10月期、2020年10月期に当社と取引があった顧客ベースで算出

当社事業の強み・特長、成長戦略については、[2022年10月期第2四半期決算説明資料\(P20~\)](#)
をご覧ください。